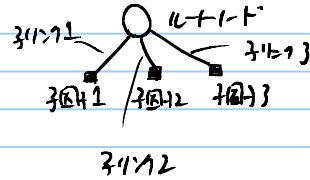
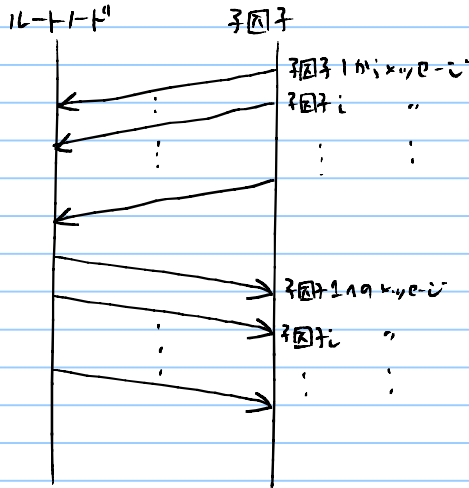


ルートを決めて葉からルートにメッセージを送り、次にルートから葉にメッセージを送り、すべての葉へのメッセージが送信された状態を考えると

(ルートノードについて)

メッセージ送受信のタイミングを図にすると

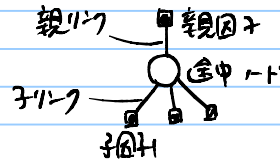
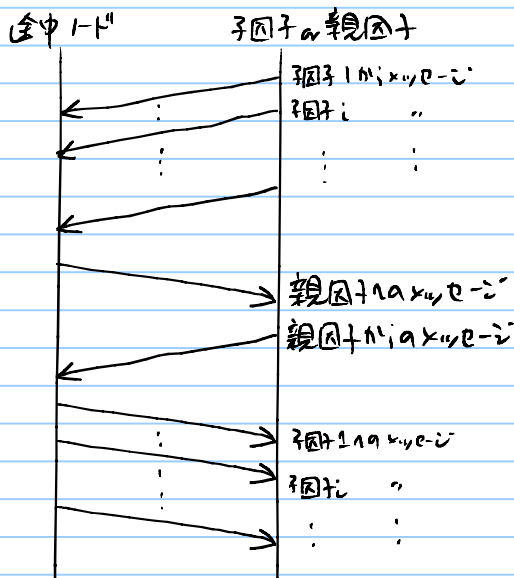


とある。

子リンク j ($j \neq i$) がメッセージを受け取った後に子リンク i にメッセージを送信する

子リンク i について保留メッセージを持たない

(途中ノードについて)



すべての子リンクがメッセージを受け取った後に親リンクにメッセージを送る

親リンクについて保留メッセージを持たない

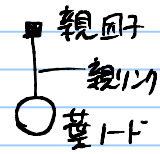
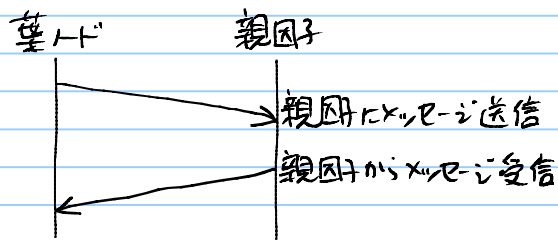
子リンク j ($j \neq i$) と親リンクがメッセージを受け取った後に子リンク i にメッセージを送る

子リンク i について保留メッセージを持たない

(途中因子について)

途中ノードと同様に全てのリンクについて保留メッセージを持たない

(葉ノードについて)



葉ノードはリンクが1つしかないため、保留メッセージを持つことができない。

(葉ノードについて)

葉ノードと同様

以上のツリーグラフは葉からルートへのメッセージ送信とルートから葉へのメッセージ送信をしたあと、どのリンクについても保留メッセージを持っていない。